

10. 人と自然との触れ合いの活動の場

【人と自然との触れ合いの活動の場】

補正評価書で景観の写真撮影した場所での以下に添付した。
撮影した場所は次の地図の地点で行った。



景観の写真撮影した位置図



国道 20 号 (約 400m 東) 白野地区入口からの写真



滝子山登山口原地区北側の高架橋前からの写真



笹子川河川親水公園内から撮影した写真



笹子川河川親水公園から笹子川を挟んで撮影した写真



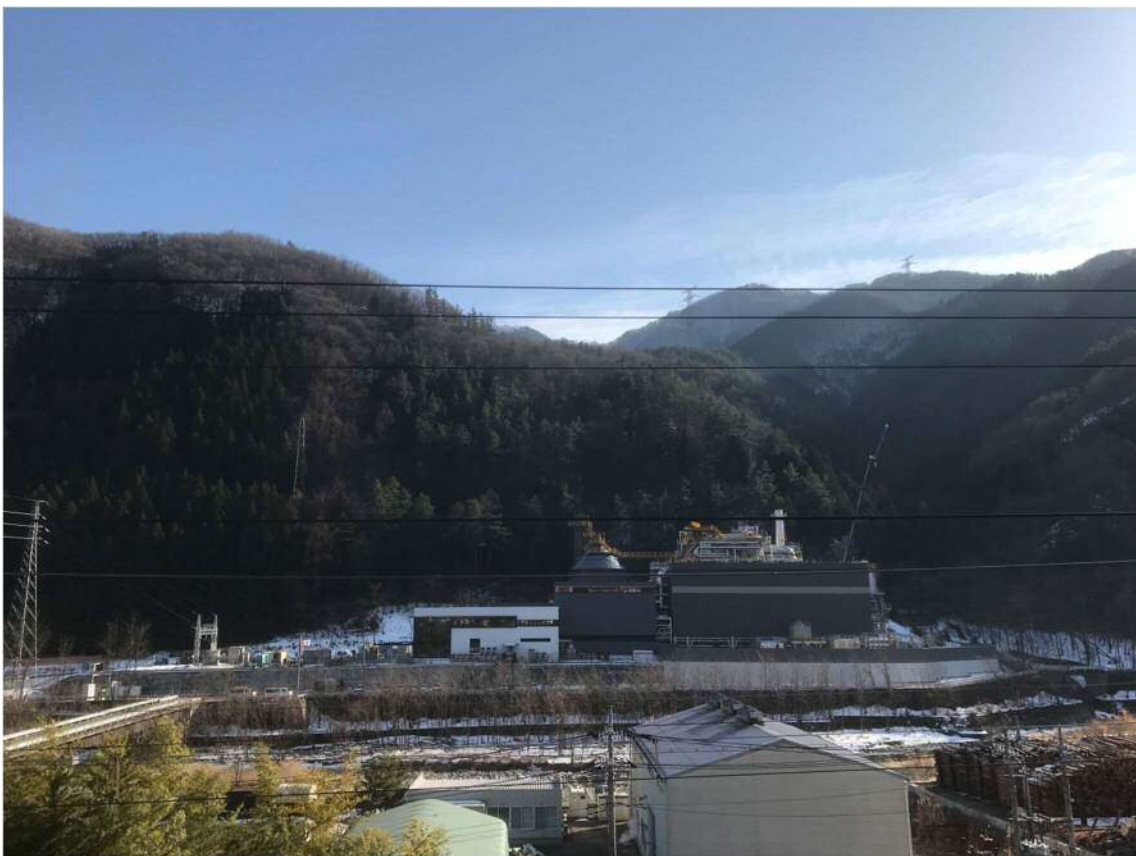
国道 20 号沿道東京から 104. 5km 地点からの写真



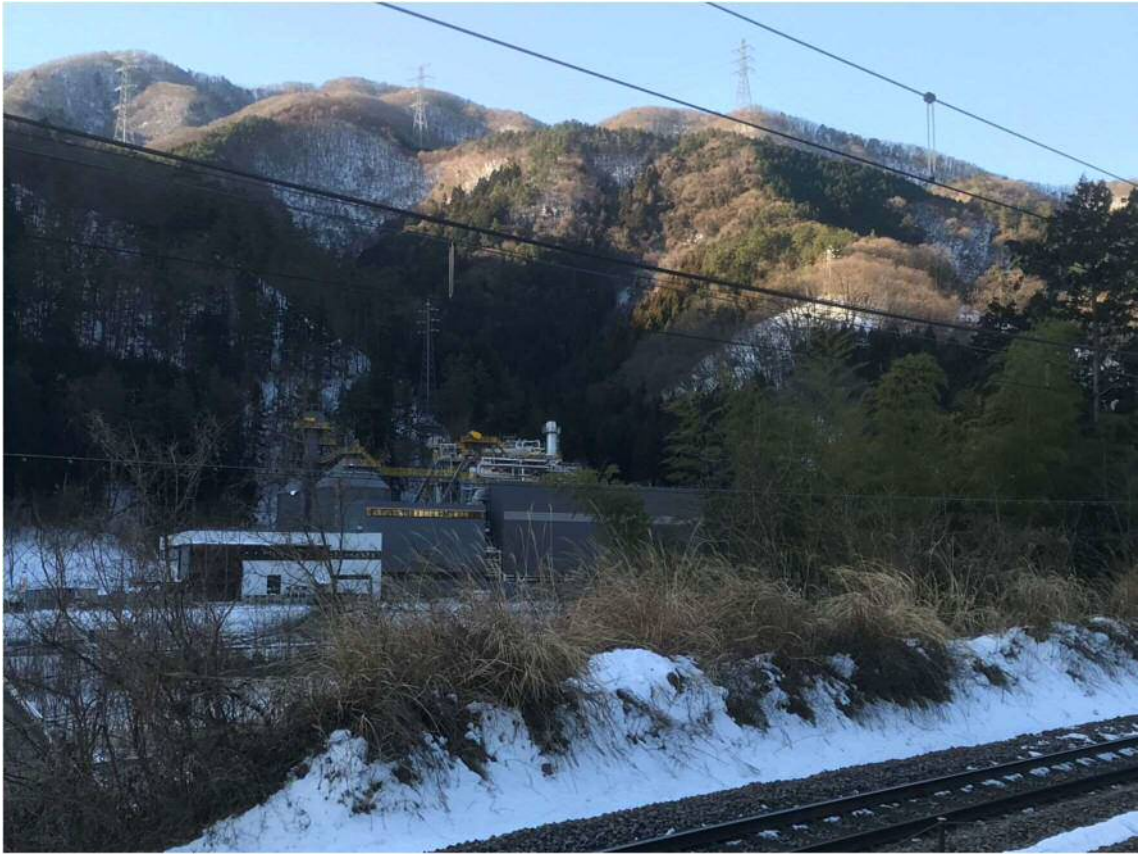
国道 20 号沿道東京から 105. 0km 地点からの写真



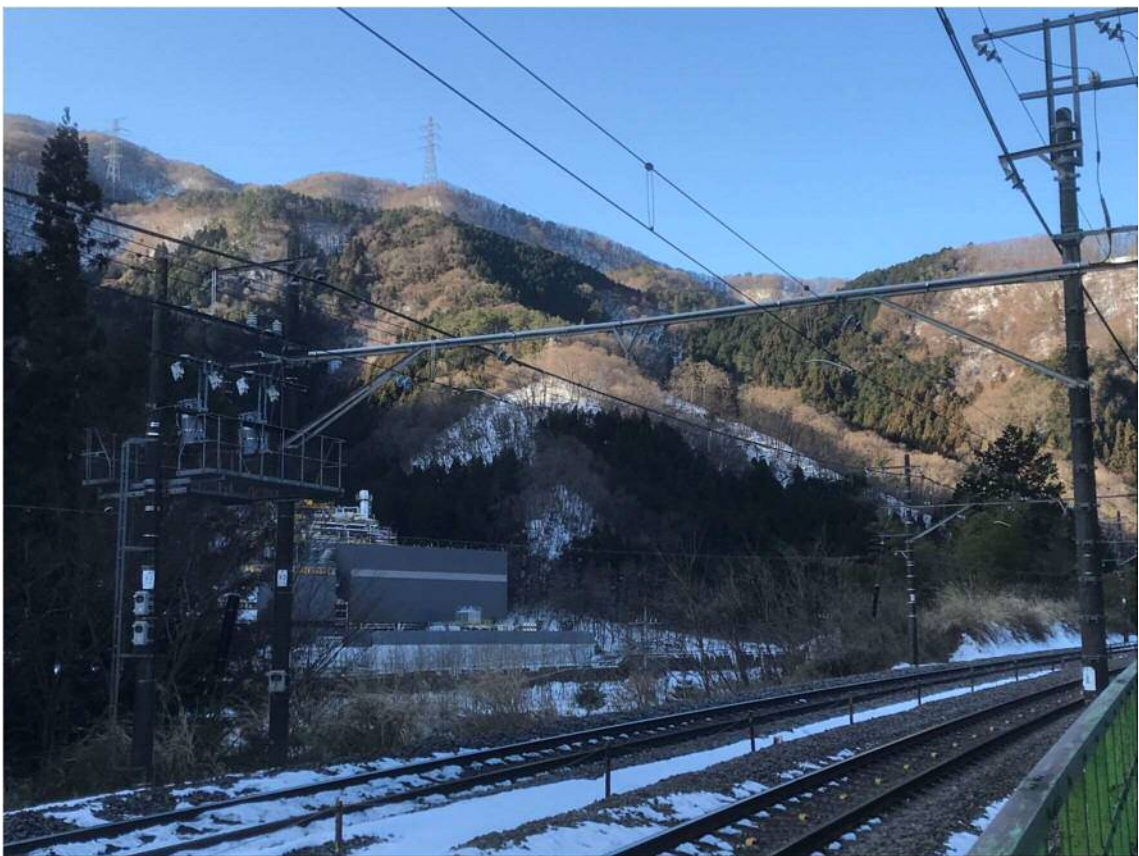
原地区（沿道）（約 400m 西地点）からの写真



原地区（約 200m 地点）沿道からの写真



中央線（約 200m 地点）からの写真



中央線（約 200m 地点）からの写真



国道 20 号沿道東京から 104. 0km 地点からの写真

【緑地の実施、建物等の色彩及び形状の配慮】

建屋点検ハシゴの色彩

建設中の建屋の煙突の点検ハシゴの色彩について目立ちすぎる意見をいただいた。そこで検討した結果を以下に示す。

1) 点検ハシゴの色彩

現場の労働安全を確保するために安全な色を着ける必要がある。JIS Z 9103:2005 には以下の記載がある。

「JIS Z 9101:2005 (安全色及び安全標識－産業環境及び案内用安全標識のデザイン通則) に基づき、国内において安全標識、安全表示などに使用されている重要不可欠な色及び色材を加え、安全色を使用するときの具体的な事項を示したものである」

建屋の点検ハシゴは高所にあり、高温な煙突の近くにあることから、作業員の安全上必要な事項又は箇所を識別させる安全色を施す必要がある。

2) 安全色及び対比色の色材の種類

色材別の安全色及び対比色の種類を次の表 1 に示す。

表 1 色材別の安全色及び対比色の種類

色材	安全色	対比色
一般材料	赤、黄赤、黄、緑、青、赤紫	白、黒
蛍光材料	赤、黄赤、黄、緑、青、赤紫	白
再帰性反射体	赤、黄赤、黄、緑、青	白
透過色光	赤、黄赤、黄、緑、青、赤紫	白、黒
信号灯	赤、黄、緑、青	白
りん光材料	—	白、黄みの白

3) 黄色の意味合い

人への危害及び財物への損害を与える事故・災害を防止し、事故・災害の発生などの緊急時に際し、救急救護、避難誘導、防火活動などが速やかな対応ができるように、安全に関する警告を視覚的に伝達表示する行うために黄色を選んだ。

以上の内容を検討した結果、高温危険・高所危険を示し、階段の踏面の縁の警告を意味する黄色が適した。また、モノトーンの建屋に目立つ安全色は黄色であったことから、点検ハシゴの色彩は黄色とした。



着工前撮影



平成30年3月16撮影



造成工事着工時撮影



平成30年3月16撮影



造成工事中撮影



平成30年3月16撮影